

## 2019年から RECARO 社の最新モデルの座席を導入！ ～北東アジアの LCC 初となるプレクライニングシートを採用～

- ・ 2019年に受領する24号機目より導入を開始
- ・ 人間工学に基づいたプレクライニングシートにより快適性を向上
- ・ スリムな座席構造により、足元のスペースが拡大

Peach Aviation株式会社（以下：Peach、代表取締役CEO：井上 慎一）は、2019年に受領する機材から快適性を向上させたRECARO Aircraft Seating社（以下：RECARO社、本社：ドイツ、CEO: Mark Hiller）製の最新モデルの座席を新たに採用することを発表しました。



RECARO社のMark Hiller CEO（右から3人目）と関係者ら  
（ドイツ・ハンブルクで開催された「Aircraft interiors EXPO」にて）

2019年から受領する24号機目（A320ceo：新造機）より採用する座席は、高級車や多くの航空会社に座席を提供する世界的に有名な座席メーカーであるRECARO社のSL3510モデルです。RECARO社の長年の経験と技術を駆使して設計されたこのモデルは、快適性と軽量化の両立を実現しており世界では既に12万席以上販売されているモデルです。



Peachの24号機より導入するRECARO社のSL3510

SL3510モデルは、人間工学に基づいたプレリクライニングデザインで設計されており、背もたれが15度倒れた状態に固定されています。また、スリムな座席構造となっていることから、全てのお客様の足元のスペースをこれまで以上に確保することができ、離発着時を含め、お客様にはさらに快適な空の旅のご提供が可能となります。

Peachでは、主要顧客層である20代～30代の女性の従業員を中心とした、部門横断型の機内座席選定プロジェクトチームを2017年4月に発足させ、座り心地や耐久性に加え、これまでご搭乗いただいたお客様のお声などを総合的に評価し、RECARO社のSL3510モデルの導入を決定しました。

なお、プレリクライニングシートを導入するのは、北東アジアのLCCではPeachが初めてとなります。

今後もPeachは日本の航空業界のファーストムーバーとして、業界の枠に捉われないイノベーティブな取り組みを積極的に展開し、アジアのリーディングLCCを目指してまいります。  
どうぞご期待下さい。

#### Peach について ([www.flypeach.com](http://www.flypeach.com))

Peachは、2012年3月に関西空港を拠点として運航を開始しました。2014年7月には那覇空港、2017年9月には仙台空港を関西空港に次ぐ拠点空港としました。現在、20機の機材で、国内線15路線、国際線14路線に就航し1日あたり最大約100便以上を運航するとともに、13,000人以上のお客様にご利用いただいております。2018年4月26日に沖縄(那覇)–高雄線8月1日からは大阪(関西)–釧路線を就航させるほか、2018年度内に新千歳空港を拠点空港とする予定です。